

数学

岐阜大学 教育学部 (口)、工学部、

医学部 (医学科) (前期) 1 / 1

<全体分析>

試験時間	120分	解答問題数	5題
------	------	-------	----

解答形式

全問論述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴

5題必須.

大問1題が4～5問の小問から構成されている.

その他トピックス

密にならない座席の選び方が出題された.

各大問の配点比率 (%) の明記がなくなった.

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	ベクトル	数学B	空間ベクトル, 体積比, 垂直	標準
2	場合の数	数学A	前後左右が隣接しない座席の選び方	やや難
3	数列	数学B	漸化式, 数学的帰納法, 数列の和	標準
4	積分法	数学III	面積, 回転体の体積	標準
5	微分法, 積分法	数学III	導関数, 最大値, 不等式の証明, 面積	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

ここ数年の出題傾向を見ると、微分法・積分法、場合の数・確率、ベクトル、数列、三角関数がよく出題されている。

標準レベルの良問が出題されるので、頻出問題を繰り返し解くとよい。問題文をよく分析し、粘り強く解法を組み立てていく力と、文字を含む計算を正確に行う力が必要である。また、場合の数・確率については、正確に数え上げる力も必要とされることがある。解法を暗記するだけの学習ではなく、解法の道筋をきちんと捉え、応用力を養うように心がけて学習してほしい。